



## 校内研究の取組

【研究主題】自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童の育成  
～外国語活動に関する活動をとおして～

本校の児童の実態として、次のようなことが言えます。

子どもたちは明るく素直で活動的であり、真面目です。また同学年の友だちだけでなく、上学年や下学年とも仲良く遊ぶ姿が見られます。しかし、就学前からの友だちも多く、固定化された人間関係の中で、自分の思いを伝えにくいこともあり、友だちに意見を述べたり、反論したりすることは難しいと感じている子どももいます。また、中学校では3つの小学校が集まるため、大人数の中で自分の意見を述べることに慣れてない子どもたちは戸惑ってしまうことが予想できます。さらに、南小の子どもたちは、決まったことやしなければならないことはきちんと行うことができますが、主体的な行動や学習に向かう意欲が低いように思われます。このような実態から、上記のようなテーマを設け、外国語活動をとおして研究に取り組んでいます。

先日、4年生の外国語の研究授業を行いました。主な目標は、「自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う」ことでした。担任の高本教諭は、ゲストティーチャーとして、英語が堪能な6年担任の野口教諭を登場させたり、タブレットに吹き込んだ会話例文を子どもたちが選び、イヤホンを使って、一人一人が練習をする活動を取り入れたりなど、工夫がいっぱいの授業で盛り上がりました。このような授業をとおして、子どもたちのコミュニケーション力の育成を図っていきたくと考えています。



# 白水台地の陽光「さん」



## 社会を明るくする運動

7月6日(土) 明るく住みよい社会をめざす～青少年のつどいメッセージ発表～があり、本校から、6年生の小牧愛佳さんが、自分の将来の夢「助産婦さんと、プロ野球選手」について発表をしました。内容的にもすばらしかったですが、発表態度も自信をもって堂々としていました。慣れない菊陽町図書館の舞台の上で、しかも大勢の地域の方々の前で、緊張感もあったかと思いますが、見事に発表できました。愛佳さんの夢が叶うように応援していきたいと思えます。



## 着衣水泳

YMCAの方を講師に迎え、着衣での水泳経験と、溺れたときの対処の仕方について体験しました。溺れた時は、体を温めるために、着衣したままで、ペットボトル等を使って浮いて待つことを学びました。



### 【通行止めのお知らせ】

熊本地震によるフェンスの傾きと、大雨による土砂の浸食等により、第2グラウンド北側校門付近の石垣の上が危険な状態になっています。そのため、子どもたちの登下校の安全を考え、7月16日(火)から東側の坂を登って、校門から出入りをする人や車の通行を止めます。ご理解とご協力をお願いします。

